

株式会社ウィルド

働きやすい
職場環境整備

職場の
意識改革



その折、IT系セミナーで「働き方改革」を知り、ライフ・ワーク・バランスの重要性に気づきました。社員がプライベートの時間を重視する方向性を見出し、平成23年に女性社員にフォーカスした「短時間勤務」等を取り入れます。ところが、それによりほかの社員に業務がしわ寄せされ、残業が増えてしまいました。その状況を打破するため、成果重視の評価方法を取り入れてみましたが、今度は各自が自分の作業のみを重視することになり、後輩の指導や助け合いがなくなり、社内の雰囲気が悪い状態となりました。

そのような状況下で、何気なく買って帰った差し入れのお菓子が打開の糸口となります。全社員で差し入れを食べている時は、パソコンに向かって作業をしている時とは違い、温かい雰囲気がありました。これを毎週の社内イベントとして導入したのが「おやつタイム」です。このコミュニケーションの場を設けたことにより、「短時間勤務」で飲み会等に参加できない社員とも交流を深められるようになりました。社員同士がお互いを思いやり、作業を協力し合うようになった今では、業績も回復し、生産性も、7年前と比べて約1.8倍になりました。諦めずに模索

したことで、会社にとって良い結果をもたらすことができました。

全社員が活用しやすい制度作りが女性活躍推進を加速させる

Webサービスは老若男女を問わず、幅広い世代に活用されます。Webサービスを開発する側としては、品質向上の観点からも女性目線を取り入れることが重要と考え、女性活躍推進法の行動計画を策定しています。最近では、IoTを活用した農業の事業にも取り組んでおり、農業体験ツアーや米のパッケージデザイン等にも女性社員の感性を発揮してほしいと期待しています。ただ、これまでの経験から「女性を過剰に優遇しないことが、結果として女性社員側も受け入れやすい」と考え、男性社員の「育児休業」取得等も支援しています。平成27年には社長自ら取引先に理解を求め、男性社員2名が「育児休業」を取得しました。時間の制約がある社員を含め、全社員が活用できる制度作りに取り組んでいます。

「おやつタイム」でプライベートを共有、お互いを思いやる風土を形成



代表取締役
大越 賢治様

勤務時間が制約されている理由や個々が抱えている事情、好きなもの、大切にしていることを知ることができました。「おやつタイム」を設けたことで、社員同士の理解や配慮、助け合いの気持ちが生まれ、社内の雰囲気が明るくなりました。加えて、共有カレンダーにも社員が自発的にプライベートの予定も書き込むようになり、社員が相互に心配りする文化が育まれるようになりました。

ユニークな方法で会話を誘発し社員の働きやすさを実現

株式会社ウィルドは、Webシステム開発やITコンサルティングをメインにする企業です。最近、スタートアップのベンチャー企業に向けた、プログラミング言語「Ruby」によるサービス開発に特化しています。サービスの特性上、社員の大半がエンジニアで、人材が会社の宝となります。そのため、ライフ・ワーク・バランスや女性活躍推進等、社員が長く働き続けられるための環境整備を積極的に行っています。

その一つが、週1回30分間開かれる「おやつタイム」です。エンジニアは、黙々とパソコンに向かい作業をすることが多く、社員同士の会話があまり行われません。そこで、職場にいる全員が手を休めて、喫茶スペースでお菓子を食べながら談話する時間を設けました。ルールは、仕事以外の会話をすることです。これにより、お互いのプライベートやパーソナルな情報が共有されるようになり、

試行錯誤しながら自社に合った働き方改革を模索

「おやつタイム」に辿り着くまでには、様々なトライ＆エラーがありました。平成20年のリーマンショックの影響により条件の良い仕事が選べなくなり、長時間労働が増えることで、体調不良等を理由とした退職者が出てきたため、打開策を探していました。



助け合う社風になり働きやすさを実感

きっかけ

不況の煽りを受けて、長時間労働が増え、病欠者や退職者が増えました。エンジニアリングサービスには人材が欠かせないため、どうしたら社員が働き続けられるかという道を模索し、女性が活躍できる制度作りの取組が始まりました。

取組

「短時間勤務」等の女性社員を対象とした制度整備や成果重視の評価方法を取り入れるといった様々な方法に取り組み、試行錯誤を重ねた結果、社員の談話を誘発する「おやつタイム」に辿り着き、週1回30分で定期的を実施することにしました。

効果

社員同士が各人の事情を理解することで、お互いに助け合えるようになりました。それにより、生産性が7年前と比べて約1.8倍になりました。さらに、男性社員2名が「育児休業」を取得する等、ライフ・ワーク・バランスの意識が高まっています。

女性社員VOICE



管理本部
横尾 恵様
平成18年入社

「社会とつながっていた方がいいよ」社長の一言に背中を押してもらえた

設立間もない時期に入社し、主に総務や経理等の業務を担っています。プライベートでは3児の母で、「育児休業」から復職した後は「短時間勤務」で働いています。

第一子出産後の復職時には、子供の病気等で出社できないことが何度もあり、第二子妊娠が双子だとわかった時には、退職するしかないと考えました。しかし、育児の先輩でもある社長が「社会とつながっていた方がいいよ」と言葉を掛けてくださり、「短時間勤務」により働き方の選択肢を広げてもらったことで、育児と仕事の両立を頑張ろうと思えるようになりました。

実際、復職した当初は「短時間勤務」に慣れず、時間切れで作業を残し、帰宅することに後ろめたさを感じていました。その折、私の事情を知った社員が「もう時間だよ」と掛けてくれた一声に救われました。そのことがきっかけで、勤務時間が短い中でも効率良く仕事をしようと励み、今では満足いくパフォーマンスができるようになりました。

仕事に対する「思い」もありましたので、会社が働き続けられる環境を整備してくれたことに感謝しています。

DATA

従業員数	男性7名	女性2名
平均年齢	男性36.3歳	女性32.0歳
平均勤続年数	男性7.7年	女性9.5年
管理職数	男性1名	女性0名

概要

株式会社ウィルド

住所 | 東京都台東区台東2-31-3
アサヒビル4F

設立 | 平成18年5月

業務内容 | ITコンサルティング、Webシステム開発 他

HP | <http://wyrd.co.jp/>